



The Rotary Club 06  
Hamamatsu Siyou Weekly Report  
浜松志耀ロータリークラブ 週報

浜松志耀ロータリークラブ 第20回例会

開催日時: 2023年11月30日(木)午後 6:30 ~ 8:30  
開催場所: オークラクトシティホテル浜松 3階チェルシーの間

■ 会長挨拶 小澤会長

本日は「支えあい生きる精神を大切に」についてお話しさせていただきます。

11月23日は勤労感謝の日です。「勤労感謝の日」は、新嘗祭(にいなめさい)という祭祀に由来します。「新」は新穀、「嘗」は奉る、舌の上のせて味をためすという意味で、「新嘗」はその年に収穫された新穀を神様に奉って恵に感謝し、口にすることを表しています。

古来、日本人は命を支える「食」を大事にし、神聖なものとしてきました。そして、祭事を通して天の恵みに感謝をささげてきました。農耕を営み、米を主食とする日本人が、新嘗祭を最も重要視したのも頷けることです。このような日本人の感性は、日常にも息づいています。おいしいご飯がいただけることに感謝するだけでなく、食事に至るまでの多くの人の働きにも感謝をしたい……こうした思いを表したのが「いただきます」「ごちそうさま」ということばです。

現在は、農作物に限らずすべての生産を祝い勤労をねぎらう「勤労感謝の日」になっていますが、その由来から、日本人が育んできた深い思いや感謝の念を感じることができます。あらゆる方々に感謝をするのはもちろんですが、家族の間でも「ありがとう」「おつかれさま」と声をかけ労り合う姿勢を忘れないようにしたいものです。

「いただきます」の語源ですが、「いただく」は神様にお供えたものを食べるときや、位の高い方から物を受取るときに、頂(いただき。頭の上)にかかげたことから、「食べる」「もらう」の謙譲語として使われるようになったことに由来しているそうです。やがて、食事を始める時に「いただきます」と言うようになり、食前の挨拶として定着しました。

食事を始める時の「いただきます」には2つの意味があり、1つめは、**食事に携わってくれた方々への感謝**。料理を作ってくれた方、配膳してくれた方、野菜を作ってくれた方、魚を獲ってくれた方など、その食事に携わってくれた方々へ感謝のこころを表しています。2つめは、**食材への感謝**。肉や魚はもちろんのこと、野菜や果物にも命があると考え、「〇〇の命を私の命にさせていただきます」とそれぞれの食材に感謝しており、こちらが本意だと言われています。

「御馳走様」の語源ですが、昔は今のよう冷蔵庫もスーパーマーケットもありませんから、食材を揃えるのは大変なことでした。「馳走」は走りまわるとい意味で、食事を出してもてなすために奔走する様子をあらわしています。やがて、丁寧語の「御」をつけた「御馳走」にもてなすとい意味が含まれるようになり、贅沢な料理をさすようにもなりました。そして、いろいろと大変な思いをして食事を準備してくれた方への感謝を込めて「様」がつき、食事のあとに「御馳走様」「御馳走様でした」と挨拶するようになったといわれています。

他の国では、食事の際に宗教的な儀式はみられますが、「いただきます」「ごちそうさま」のような挨拶をしない国もあります。「いただきます」「ごちそうさま」には、日本人の考え方や食文化が色濃く反映されているのだと思います。人と人との関わりや食への関心が高まる今、「いただきます」「ごちそうさま」に教えられることは多いのではないのでしょうか。何気ない挨拶ですが、意味を知って使うことで、こころの栄養につながるのではないのでしょうか。

私達の生活はどこかで働いている多くの人のおかげでなりたっています。見ることのないどこかで支えてくれている人たちにも感謝を忘れないことが大切です。勤労感謝の日、支えあい、労り合いで生きる精神を大切にしたいものです。

本日は若尾真利さんをお迎えてのクラブ望年会です。全員で楽しみましょう。ありがとうございました。



■ 幹事報告 田淵幹事

・本日のゲスト: 若尾真理さんにお越しいただきました。リリースされたCDもご持参されています。

■スマイル

- ①小澤会長・田淵幹事ー若尾さんへの御礼
- ②村田会員ークラブ会員からのご厚志への御礼
- ③内山会員ー農協祭のご案内
- ④衛藤会員ー若尾さんへの御礼と本日の司会への激励

\*\*\*\*\* 望年会 若尾真理さんのJAZZボーカルを聞きながら、会員の親睦を深めた \*\*\*\*\*



※ゲスト1名(若尾真利さん) 見学1名(三輪一貴さん) ※出席率: 61.7% (会場19名 + BAND 2名 = 21名 / 34名)

